

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛驒特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年10月24日(木) 9:30~11:30
- 3 開催場所 飛驒特別支援学校本校 ビルクリーニング室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者

会 長	柏木 真司	NPO法人ウェルコミュニティ飛驒
副 会 長	白田 成男	飛驒特別支援学校高山日赤分校PTA会長
委 員	石原 真悠子	飛驒特別支援学校本校PTA会長
	霜山 紀代乃	花里まちづくり協議会事務局長
	桑原 宏之	新宮まちづくり協議会代表
	田中 雪子	山ゆり学園施設長
	丸山 永二	高山市社会福祉協議会事務局長(欠席)
	松下 孝治	高山市市民福祉部福祉課課長
	大坪 希美枝	環境ネット(株)サービス管理責任者
	伊藤 早苗	まちひとふら座かんかこかん運営委員長
学 校 側	竹田 万里子	校長
	熊崎 礼子	高山日赤分校副校長兼高等部主事
	長瀬 美智代	本校教頭
	伏屋 俊宏	事務部長
	新屋 郁子	本校小学部主事
	島ノ上 麻美	本校中学部主事
	田中 一幸	本校高等部主事
	中林 亜紀子	高山日赤分校小・中学部主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 授業見学

(2) 令和6年度の取組と生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果について

意見1: 取組の様子では、職員の頑張りや学校の活動がよくわかる。日時や場所を入れておくと、さらにわかりやすく伝わる。

意見2: アンケートのいじめに関する項目では、「やや当てはまらない」との回答が一名いる。それで、成果にあげるのには疑問がある。

⇒いじめに関するアンケートは年間いろいろなものを行い取り組んでいる。成果が上がったという印象をもたれる表現については考えたい。

意見3: アンケートの項目に、学校運営協議会委員ではわからない内容がある。そうした項目は学校運営協議会委員のアンケートからは外してもよいのではないかと。

⇒来年度のアンケートは、保護者と学校運営協議会委員が本当に同じ内容にする必要があるのかを検討したい。

意見4: まちづくり協議会主催の「芸能発表会」では、地域の人に学校のことを知ってもらう機会となるので、続けて参加してもらえるとよい。

- 意見 5 : 作品展や写真展の宣伝に、ホームページのトップページに表示する等、わかりやすい活用をするとよい。読むよりも見る方が意識できる。児童生徒や保護者の生の声を聴くことや、ホームページで発信することを大切にしてほしい。
- 意見 6 : アンケートで「わからない」や「ややあてはまらない」と回答されている取組も、どうしていくかが分析に書いてあるとよい。
- 意見 7 : 地域に学校のことを知ってもらうことは、将来を見据えたとき保護者の安心感となる。校外学習では、先生の努力やつながりを大切にしていることがよくわかる。
- 意見 8 : 全校のつながりの活動がととてもよい。地域での交流も昨年より増えて積極的に感じている。
- 意見 9 : アンケートでは、概ね肯定的な回答でよい方向に向かっている。県内の他の学校のアンケートとの比較があると違う見方ができる。
⇒重点項目は学校独自のものとなっているが、他校との比較や項目の内容は今後検討する。
- 意見 10 : 今年度、学校からの勧めで、中学部の生徒 2 組が福祉就労事業所に見学相談に来られた。良いことだと思う。
- 意見 11 : 卒業後のことを考えると、やりたいことをやりたいようにするというところは困るところでもある。学校では、どのように考えているのか。
⇒好きなことを好きなようにしてよいとは考えていない。何に興味があるのかを探り、それを入り口にして集団や学習に向かうための支援を考えている。
- 意見 12 : 学校では、あいさつなどについて一律に指導している場面があったが、生徒は一人一人受け取り方が違うし、就労先によっても必要なことが違うので、どうなのか。
⇒学校では、基本の姿勢が身に付くように指導している。その上で、実習の現場に応じたやり方が身に着くよう取り組んでいる。
- 意見 13 : 委託作業の割りばしや景品等の裏に、教育活動の周知になるようなシールを貼る方法がある。
- 意見 14 : 3つの重点項目に感動している。地域連携、ボランティア、まち協との協力が素晴らしい。一人一人が輝いて尊重される存在であることを伝えるためにも活動する場を広げる工夫をしてほしい。
- 意見 15 : 児童生徒が主体となった進路選択のためにも、福祉事業所の特色や理念を理解するための場を作ってほしい。特に就労継続支援の B 型は事業所によって特色が違う。理解なく進路選択すると、ストレスの原因になる。

(3) 本校高等部作業製品の価格審査会

- ・新製品の価格について、適正な価格であると承認が得られた。
- ・使用用途に沿った製品の名称変更について、承認が得られた。

6 会議のまとめ

- ・会議では、教育活動の周知についての賛同や、新たな取組について、様々な意見が得られた。
- ・学校評価アンケートの結果から得られた成果や課題と、学校運営協議会委員から得られた意見を学校内で共有し、今後の実践につなげていく。
- ・アンケート項目については、いただいた意見を踏まえ、来年度のアンケート実施に向けて検討する。
- ・本校高等部作業製品の新規登録について、承認が得られた。
- ・第 3 回の学校運営協議会では、今年度の実践のまとめを報告し、来年度の取組について検討する。